

大人の学習講座

1, 趣 旨

ピザ焼き体験やソバ打体験を通じて、生涯学習活動を推進する。

2, 期 日

平成27年3月15日(日) 日帰り

3, 主 催・実施場所

北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル森

4, 講 師

大野そば愛好会会長 種田 憲悦 氏 他

5, 参加対象

大人

6, 参加実績

45名

7, プログラム内容

	9	10	11	12	13	14	15	16	17
15日		受付	開会式	蕎麦作り	実食	閉会式	解散		

8, 活動の様子

地元森町を中心に近隣から、四十人の参加があった。開会式では、阿部所長から「参加者の要望により、今年もそば作りを行う講座として開催した。一日和気あいあいとそば作りを楽しんでいただければと思う。」と挨拶。その後、講師である種田憲悦会長（大野そば愛好会）から、「私たちの会も昨年二十周年になった。自分で作ってみることでさらにおいしくなると思う。疑問点であれば遠慮しないで質問してください」と挨拶があった。

参加者は、八つのグループに分かれて、そば打ち体験を行った。はじめに、講師からの説明があり、どの参加者も真剣に話を聞いていた。まず、「水まわし」と「こね」を行った。こね鉢にそば粉と小麦粉を入れ、水を少しずつ入れていった。手を熊手のようにしながら、交ぜていった。微妙な水加減に注意して、粉の状態の変化を見ながらこねていった。練っていくうちに粉もかたまり、最後に「菊ねり」という形でまとめていった。

次に、「のばし」を行った。丸めたものを、まずは手で平たくして行った。次に麺棒を使って、丸くのしていった。講師の的確な実演と説明を受けて、どの参加者も「あー、なるほど」と納得の声をあげていた。それが終わると「角だし」。まるい形から四角にしていった。のし棒で形を整えて、最後に折りたたんで一旦終了。



今度は、できたものをそば作り包丁で均一になるように切っていた。出来上がったそばは、小分けにしてまとめた。参加者は慣れない手つきながらも、徐々に上手になっていった。若干色々な幅のそばとなったが、どの参加者もできあがったそばを見て、満足げな様子。その後は、大野そば愛好会で、あらかじめ用意してあったそばをゆでて皆で食べた。この他に、そば団子のお汁粉も作って皆で味わった。どの参加者からも「おいしい！」との声。参加者からは、「自分でそばを打つのは初めてで、とても感動しました。おいしかったです。お土産もありがとうございました」「初めての体験でしたが、楽しく勉強になりました。また、みなさんとのふれ合いも良かったです。どうもありがとうございました。また参加してみたいです。」といった感想があった。



閉会式では、種田講師から、お礼の言葉があり、「声をかけてくれたら、いつでもどこへでも伺うので、よろしく願いたい。またの機会を、楽しみにしています。」と話があった。参加者は自分で打ったそばを手に、笑顔で会場を後にした。

9、参加者の声

(以下アンケートより抜粋)

- ・自分で作ったお蕎麦を食べられるなんてとても嬉しかった。
- ・グループごとにそばを練ったり、切ったりして楽しく出来ました。
- ・講師の方がとても親切、丁寧に教えていただきました。
- ・初めて参加いたしました。とても楽しく体験できたので、次回も機会があれば参加したいと考えています。

10、事業の分析と考察

今回の事業の主旨は「ピザ焼き体験やソバ打体験を通じて、生涯学習活動を推進する。」であった。今回、蕎麦作り体験の満足度アンケートをとった。結果は、「とても満足 67%、満足 13%、普通・やや不満・不満 0%」となった。また、参加者からは「そば切りの時、太い包丁で切ったときの感触が初めての経験であった」「そば作りをしたいと思い今回参加しました。体験して、自分で作れるようになりたいと思っています」などの声が上がっていた。満足度が大変高く、グループの仲間と交流をしながら体験を行うことができたと言える。また、「家庭でも試してみよう」といった、体験した学習を活かしているという試みが見えるようになった。

このことから、仲間と体験していくことで生涯学習の一助として開催することができた。

11、成果と課題

○成果

- ・ネイパル森周辺に住民同士の交流場とすることができた。
- ・参加者同士での共通の話題もあり、楽しく体験ができた。次回の開催要望も多かった。

▼課題

- ・今回の事業をとおり、料理教室だけでなく運動教室への期待が高いことが分かった。今後、プログラム開発が必要であると考えます。

